



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知保険医会館内
TEL ; (052) 832-1349
FAX ; (052) 834-3584

「歯科受診怖くない」「感染症予防に有効」にシールで投票 いい歯デー 街頭宣伝

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会は、11月8日(日)のいい歯デーに、名古屋栄の三越前で街頭宣伝を行いました。当日は、北生協歯科や保険医協会の歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士のほか、愛商連などから17人が参加して、道行く人々に声をかけ、チラシの入ったティッシュを



配って宣伝を行いました。300個のティッシュを1時間で配りきりました。

江原雅博連絡会会長、大藪憲治副会長ら歯科医師4人と、歯科衛生士らが交代でマイクを握って、新型コロナウイルスへの感染を恐れて受診抑制することで、口腔内の状況を悪化させないように訴えを行いました。

歯科医院での感染防止対策も紹介し、不安を感じた場合には、歯科医に相談してほしいと呼びかけました。今回の街頭宣伝では、例年行っているガムを用いた簡易咀嚼能力や口臭のチェックなどは行わず、歯科医師による歯の健康相談と、初

めの取り組みとなるシール投票を行いました。投票の設問は「歯科は感染リスクが高く、治療に行くのが怖いか」「口腔ケアが感染症予防に有効なことを知っているか」の2問。60人を超える市民が投票して、それぞれ「怖いと思わない」71.6%、「知っている」62.1%と、コロナ禍の中でも歯科受診へのハードルを高くは感じていないことがわかりました。



国への自治体意見書採択の運動

12月議会への取り組み

「歯科保健事業を拡充し、保険でより良い歯科医療の実現を求める」国への意見書の採択を求める請願運動を昨年から再開しています。今年は特に新型コロナ感染拡大があり、口腔ケアをしつかり行うことで、感染予防に繋がることもあるので、特に歯科保健事業を国が責任を持って行うことを強調して訴えています。

12月議会に向けて、豊根村に地元で開業している歯科医師と豊根村診療所の所長(いずれも保険医協会東三河地区世話人)に請願者となつていただいて議会に提出しました。議長は「医療が一番、教

育がその次」「地元唯一の医師・歯科医師の要望を受け入れないわけにはいかない」と議会への提出と採択に向けての約束をしてくださいました。

引き続き、豊田市、日進市、東栄町、小牧市などに対して地元の開業医(保険医協会会員)の協力を得ながら、次の議会に向けて働きかけを進めていきます。



議長に請願を提出する依田氏(右側)

イレバデー 歯のなんでも電話相談

10月8日(木)愛知県保険医会館で「イレバデー・歯のなんでも電話相談」を開催しました。当日は保険医協会が覚王山日泰寺で、使わなくなった入れ歯などを供養する「歯の供養祭」を開催し、その後の時間に開催したものです。保険医協会の歯科部員4人が相談に応じました。中日新聞などの案内記事を見た市民から、「歯が抜けてしまったが、他の歯を削らずに治すことができないか」「上の歯が残り2本しかなく、下には奥歯がない。入れ歯を作るには全部抜くのか」「入れ歯を長持ちさせる方法はないか」などの問い合わせがあり、丁寧に答えて相談に応じました。

